

## 令和4年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年 学科 類型	2年 普通科 II型
単位数	2	教科書	精選現代文B (東京書籍)		
副教材等	精選現代文B 学習課題ノート (東京書籍)				

学習の目標	1 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。 2 論理的思考力や想像力を身に付け、自分の意見を的確に表現する力を養います。
学習の方法	・授業に集中して取り組み、本文を要約したり、自分の考えを書いたり発表したりする活動に積極的に参加しましょう。また、ノートの整理などもきちんとしておきましょう。 ・学習課題集の問題を解いたり、漢字や語句の意味を調べたりして、語彙力を高めましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1学期 中間	評論1 世界をつくり替えるために	・世界と自分との間に越えがたいずれを感じるものが、あらゆる未来の「種」をあみ出す起点となることについて学びます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	-	-	◎	○
	評論1 ミロのヴィーナス	・鋭い感性と巧みなレトリックによって書かれた文章を読みます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	◎	-	-	○
1学期 期末	小説1 山月記	・小説を読み、そこに描かれた場面や登場人物についての的確に捉えます。 ・虚構性を通して、人間とは何であるかについて考えを深めます。 ・小テスト、ノート、レポート、定期考査	○	-	-	◎	○
	評論2 相手依存の自己規定	・日本人は、自分が何であるかという自己同一性の確認を他者を基準にして行う傾向が強いということについて学びます。 ・小テスト、ノート、レポート、定期考査	○	-	◎	-	○
2学期 中間	詩歌 見えない季節 他	・近現代詩の鑑賞の仕方を学びます。 ・作品独自の表現などに注意して、内容を理解します。 ・建築を通して、表象と存在について考えます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	-	-	◎	○
	評論3 おじいさんのランプ	・現代における情報化の進行をふまえて、本、言葉、情報と人間の関係について考えます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	-	◎	-	○
2学期 期末	小説2 こころ	・小説を読み、登場人物・情景・心理などの描写を的確に捉えて味わいます。 ・人生への関心を深め、自己の形成に資するようにします。 ・小テスト、ノート、レポート、定期考査	○	-	-	◎	○
	評論4 「である」ことと「する」こと	・出生や家柄によって決まる「である」論理から、その人の業績が価値を決める「する」価値への移行を提言する文章を読解します。 ・日本の近代化を学ぶうえで欠かせない考え方を理解します。 ・小テスト、ノート、プレゼンテーション、定期考査	○	◎	-	-	○
学年 末	評論4 人間の運命と科学	・人間の認知や欲望を規定する認知的バイアスは、短期的な競争に勝ち抜くという選択肢の下で進化したのがゆえに、人間の長期的な存続を妨げる可能性があることについて学びます。 ・小テスト、ノート、プレゼンテーション、定期考査	○	◎	-	-	○
	小説3 蠅	・硬質で輝きに満ちた文体が描き出す鮮烈なイメージのあふれる小説を読解する中で、内容や表現についてさまざまな観点から議論します。 ・小テスト、ノート、レポート、定期考査	○	-	-	◎	○
	評論5 日本人の美意識	・日本人は、弱くて小さいものに美的感情を刺激され、それを「うつくし」と表現したこと理解し、美術論や日本文化論について考えます。 ・小テスト、ノート、プレゼンテーション、定期考査	○	-	-	◎	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	10
② 話す・聞く能力	行動の観察、発表、プレゼンテーション	10
③ 書く能力	課題プリント、レポート、定期考査	20
④ 読む能力	課題プリント、定期考査	20
⑤ 知識・理解	ノート、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	国語	科目	古典B	学年 学科 類型	2年 普通科 II型
単位数	2	教科書	高等学校 改訂版 古典B (第一学習社)		
副教材等	高等学校 改訂版 古典B学習課題集 (第一学習社)				

学習の目標	1 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てます。 2 古典に親しむことで言語感覚を豊かにし、文化を理解する力を養います。
学習の方法	・予習では、ノートに本文、文法、口語訳などを記入しておきます。また、音読をしましょう。 ・授業中は、口語訳や文法の確認を中心に行います。しっかり聞いて、予習の段階で分からなかったところを確認しましょう。 ・復習では、学習課題集を解いて、学習した内容を定着させましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1 学期 中間	古文 (説話)	・筆者が主張している内容について整理します。 ・登場人物の心情や人物像を、表現に即して考えます。 ・庶民性や平俗性といった特色を理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文 (故事・寓話)	・登場人物の心情を理解します。 ・漢文に頻出する語彙や句法を確認し、現代語訳します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
1 学期 末	古文 (随筆1)	・中世の無常観を理解し、その背景を考えます。 ・文中の助動詞の意味・用法について理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文 (古代の史話)	・古代中国の人々の考え方や生き方を読み味わい、自らの考え方をまとめます。 ・行動の観察、ノート、小テスト、レポート、定期考査	○	—	—	◎	○
2 学期 中間	古文 (物語1)	・登場人物の関係を、敬語の使われ方から理解します。 ・文中の助詞・助動詞の意味・用法について理解します。 ・物語の特徴を比較し、文学世界を味わいます。 ・行動の観察、ノート、小テスト、プレゼンテーション、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文 (名家の文章)	・句法や頻出の語彙に注意しながら現代語訳します。 ・登場人物の人柄について考察します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
2 学期 末	古文 (随筆2・物語2)	・随筆から筆者の観察眼と美的感覚を理解します。 ・物語の内容を理解し、古典の世界の理解を深めます。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文 (項羽と劉邦)	・句法に注意しながら書き下し文・現代語訳をします。 ・人物関係を整理し、それぞれの性格を読み取ります。 ・行動の観察、ノート、小テスト、レポート、定期考査	○	—	—	◎	○
学 年 末	古文 (日記・物語3)	・本文全体を通して、作者の主張を読み取ります。 ・本文中の敬語について理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文 (漢詩の鑑賞・思想)	・詩の情景や心情を読み味わいます。 ・各詩の詩型及び押韻を確認します。 ・孔子・孟子・老子が尊ぶ「人間像」を考察します。 ・孔子の理想とする政治論について理解する。 ・行動の観察、ノート、小テスト、プレゼンテーション、定期考査	○	—	—	◎	○
	古文 (和歌・俳諧)	・時代背景や文化を踏まえて、和歌を読み味わいます。 ・中国の文化との比較を通して理解を深めます。 ・行動の観察、ノート、レポート、小テスト	○	—	—	◎	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント、レポート、プレゼンテーション	20
② 話す・聞く能力		—
③ 書く能力		—
④ 読む能力	課題プリント、レポート、発表、定期考査	40
⑤ 知識・理解	ノート、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	地理B	学年 学科 類型	2年 普通科 II型
単位数	2	教科書	新詳地理B (帝国書院)、新詳高等地図 (帝国書院)		
副教材等	新詳地理資料COMPLETE 2022 (帝国書院)、地理ワークブック2022(愛媛県高教研地理歴史・公民部会地理部門)				

学習の目標	地理では、現代世界の抱えている諸問題を、身近なところから世界的規模にまで 空間的な広がり のなかで捉えて、系統地理的な方法と、地誌的な方法の二つの方法を使いながら考えていきます。
学習の方法	地図帳や作業地図・白地図などを活用して、自然環境、農業、鉱工業などの特徴や分布状況を空間 的な広がりの中で捉えていきましょう。自分の知識や体験を通して、普段から様々な問題に興味・ 関心を持ち、解決しようとする前向きな姿勢を大切にしましょう。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第Ⅰ部 1章 さまざまな地図と地理的技術 2章 地図の活用と地域調査	・地図の種類や時差の求め方、地形図の活用と地域調査について学習します。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	◎	○
	第Ⅱ部 1章 現代世界の系統地理的考察 1節 自然環境 1節 世界の地形	・世界の地形について、大地形、小地形の分布や成因を考察し、災害と恩恵など人間生活との関係を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	-	◎
1 学期 末	2節 世界の気候	・世界の気候について、それぞれの気候区の特徴と農業など人間生活への影響を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	◎	○	○
	2節 世界の気候	・世界の気候について、それぞれの気候区の特徴と農業など人間生活への影響を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	◎	○	○
2 学期 中間	3節 日本の自然の特徴と人々の生活	・日本の生活について、地形や気候との関係や日本における自然災害の特徴を理解し、今後の防災のあり方を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	◎	○	○	-
	4節 環境問題	・地球温暖化、森林破壊、砂漠化などの環境問題を扱います。また、日本の環境問題の特徴と対策について考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	◎	○	○	-
	2章 資源と産業 1節 世界の農林水産業	・現代世界の農林水産業の現状と課題、世界のなかでの日本の農林水産業が抱える課題を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	-	◎
2 学期 末	2節 食料問題	・世界の食料需給の地域的な偏りを大観し、発展途上国、先進国、日本についての事例を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	◎	○	○	-
	3節 世界のエネルギー・鉱産資源	・エネルギー資源の利用と分布、鉱産資源の分布について学習します。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	○	◎
3 学期	4節 資源・エネルギー問題	・現代世界の資源・エネルギー問題を大観し、資源をめぐる問題について考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	-	◎
	5節 世界の工業	・工業の発達や立地、世界の工業地域について学習し、世界の工業の現状と課題、及び日本の工業の課題を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	-	◎
	6節 第3次産業	・現代世界の第3次産業の発展と、世界と日本の観光業の特色について学習します。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	◎	○	○
			○	◎	○	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	授業態度、発表、学習プリント、作業プリント	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査	20
③ 資料活用 of 技能	発表、定期考査	10
④ 知識・理解	課題プリント、小テスト、定期考査	50

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

# 令和4年度 シラバス

教科	公民	科目	現代社会	学年 学科 類型	2年 普通科 II型
単位数	2	教科書	高等学校 改訂版 現代社会 (第一学習社)		
副教材等	本質が見えてくる最新現代社会資料集新版(第一学習社)、現代社会ワークブック2022(愛媛県高教研地理歴史・公民部会公民部門)				

学習の目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間について理解し、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を身に付けます。
学習の方法	・教科書を基本教材としつつ、資料豊富な副教材も活用しながら学習内容の定着を図ります。 ・意欲・関心を持って取り組み、復習を怠らないようにしましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	私たちの生きる社会	・現代社会における諸課題を通して、幸福、正義、公正などについて理解するとともに、現代社会について関心を高めます。 ・ノート整理、レポート、定期考査	◎	○	○	○
	第1章 現代に生きる青年	・青年期の意義を理解し、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら、自己形成の課題について考えます。 ・ノート整理、定期考査、パフォーマンステスト	○	○	○	◎
1 学期 末	第2章 個人の尊重と法の支配	・日本国憲法と関連しながら、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等について考えます。 ・ノート整理、定期考査	○	○	—	◎
	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	・日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深め、政治参加の重要性について考えます。 ・ノート整理、レポート、定期考査、ポートフォリオ評価	○	◎	○	○
2 学期 中間	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	・日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深め、政治参加の重要性について考えます。 ・ノート整理、レポート、定期考査	○	◎	○	○
	第4章 国際政治の動向と日本の役割	・国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解します。 ・ノート整理、定期考査	○	○	○	◎
2 学期 末	第5章 現代の経済社会と私たちの生活	・現代の経済社会の変容に触れながら、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考えます。 ・ノート整理、定期考査、パフォーマンステスト	○	○	○	◎
	第6章 国際経済の動向と日本の役割	・グローバル化が進展する国際社会における国際経済の動向について理解します。 ・ノート整理、定期考査、ポートフォリオ評価	○	◎	○	○
3 学期	第6章 国際経済の動向と日本の役割	・グローバル化が進展する国際社会における国際経済の動向について理解します。 ・ノート整理、定期考査	○	◎	○	○
	第7章 現代に生きる倫理	・個人と社会の関係に着目し、社会を構成する個人の生き方の選択が社会全体の課題にどのように関連しているか考えます。 ・ノート整理、定期考査、パフォーマンステスト	○	◎	○	○
	ともに生きる社会をめざして	・持続可能な社会の形成に参画するという観点から、課題を探究する活動を通して、人間としての在り方生き方を考えます。 ・ノート整理、レポート、定期考査、ポートフォリオ評価	○	◎	○	—

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	授業態度、発表、ノート整理、ポートフォリオ評価	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査、レポート	20
③ 資料活用の技能	発表、定期考査、パフォーマンステスト	20
④ 知識・理解	課題プリント、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	数 学	科目	数学Ⅱ・B	学年 学科 類型	2年 普通科 Ⅱ型
単位数	7	教科書	改訂版 高等学校 数学Ⅱ (数研出版) ・ 改訂版 高等学校 数学B (数研出版)		
副教材等	改訂版 4プロセス 数学Ⅱ+B (数研出版)、増補改訂版 チャート式 解法と演習 数学Ⅱ+B (数研出版)				

学習の目標	自然現象や社会現象を考察するのに欠かせない概念や基礎的な知識を学び、事象を数学的に深く考察し処理する能力を伸ばします。そして、それを積極的に活用していく態度を育てます。
学習の方法	・教科書と並行して、教科書傍用問題集「4プロセス」で演習を行います。予習・復習を徹底するとともに、疑問点の解消に向けて努力してください。 ・学習課題は必ず行い、提出物は期限までに必ず提出してください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中 間	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第1節 式と計算	・整式の乗法・除法及び分次数式の四則計算について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	—	○	◎
	第2節 等式・不等式の証明	・等式や不等式が成り立つことの証明について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	○	◎	○
	数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解	・数の範囲を複素数まで拡張して二次方程式を解くことについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	—	◎	○
	第2節 高次方程式	・因数分解を利用して高次方程式を解くことについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	○	◎	○
1 学期 末	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	・座標や式を用いて直線の方程式などについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎
	第2節 円	・座標や式を用いて円の方程式などについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	◎	○	○
	第3節 軌跡と領域	・平面図形の性質や関係を数学的に表現することについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	◎	○	○
	数学B 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算	・ベクトルの基本的な概念について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	—	○	◎
1 学期 末	第2節 ベクトルと平面図形	・ベクトルの平面図形への応用について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	○	◎	○
	数学Ⅱ 第4章 三角関数 第1節 三角関数	・角の概念を一般角まで拡張して三角関数について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎
2 学期 中 間	第2節 加法定理	・三角関数の加法定理について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	◎	○	○
	数学Ⅱ 第5章 指数・対数 第1節 指数関数	・指数関数について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	—	○	◎
2 学期 末	第2節 対数関数	・対数関数について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	○	○	◎
	数学B 第2章 空間のベクトル	・ベクトルの空間図形への応用について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	—	◎	○
2 学期 末	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数	・微分の考えについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	—	○	◎
	第2節 関数の値の変化	・関数の増減と極大・極小について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	○	◎	○
3 学期	第3節 積分法	・積分の考えについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	◎	○	○
	数学B 第3章 数列 第1節 等差数列と等比数列	・等差数列と等比数列について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	—	○	◎
	第2節 いろいろな数列	・いろいろな数列について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	○	◎	○
	第3節 数学的帰納法	・漸化式と数学的帰納法について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	◎	○	○
[発展]	分数関数・無理関数	・発展的な内容を学習します。 ・課題プリント、ノート	○	◎	—	—

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	取組状況観察、振り返り、発表、課題プリント、ノート	10
② 数学的な見方や考え方	取組状況観察、発表、ノート、小テスト、定期考査	30
③ 数学的な技能	板書の整理状況、ノート、小テスト、定期考査	20
④ 知識・理解	定期考査、小テスト、課題プリント	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	理 科	科 目	物理基礎	学年 学科 類型	2年 普通科 II型
単位数	2	教科書	改訂版 物理基礎 (数研出版)		
副教材等	物理基礎問題集 (愛媛県高等学校教育研究会理科部会物理部門編)				

学習の目標	1 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高めま す。 2 目的意識を持って観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を養います。 3 物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。
学習の方法	・身近な物理現象を話題に取り上げたり、観察、実験などの体験的な活動を行ったりしながら、物理学に おける基本的な概念や原理・法則が、実感を伴って理解できるように授業を進めます。 ・知的好奇心と、知識・理解を活用しながら探究する姿勢を維持し、演習問題に取り組みましょう。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方 第2章 運動の法則	<ul style="list-style-type: none"> <li>等速直線運動や等加速度直線運動、落体の運動について学習します。</li> <li>運動の三法則を理解して、物体に働く力を図示すること、運動方程式や力のつりあいについての式を作れるよう学習します。</li> <li>課題プリント、発表、行動の観察、実験レポート、パフォーマンステスト、観察・実験の観察、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
	第3章 仕事と力学的エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事についての知識を基礎とし、運動エネルギーと位置エネルギーや力学的エネルギー保存の法則について学習します。</li> <li>課題プリント、発表、行動の観察、定期考査</li> </ul>	○	○	—	◎
1 学期 末	第2編 熱 第1章 熱とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子や分子の熱運動というミクロ的な視点から、熱と温度について学び、熱の移動や熱と仕事の交換についても学習します。</li> <li>課題プリント、発表、行動の観察、実験レポート、パフォーマンステスト、観察・実験の観察、定期考査</li> </ul>	○	—	○	◎
	第3編 波 第1章 波の性質 第2章 音	<ul style="list-style-type: none"> <li>音波の性質を理解し、気柱の共鳴や弦の振動の探究活動を通して、知識・理解を活用する能力や態度を養います。</li> <li>課題プリント、発表、行動の観察、実験レポート、パフォーマンステスト、観察・実験の観察、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
2 学期 中間	第4編 電気 第1章 物質と電気抵抗 第2章 交流と電磁波	<ul style="list-style-type: none"> <li>オームの法則やジュールの法則、電力量や電力について学習します。</li> <li>交流の発生や送電の仕組み、電磁波の性質とその利用について学びます。</li> <li>課題プリント、発表、行動の観察、実験レポート、パフォーマンステスト、観察・実験の観察、定期考査</li> </ul>	○	○	○	◎
	第5編 物理学と社会 第1章 エネルギーとその利用 第2章 物理学が拓く世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>水力、化石燃料、原子力、太陽光などのエネルギー資源の特性や利用について、物理学的な視点から学習します。</li> <li>既習事項が、日常生活や科学技術と結び付いていることを学習します。</li> <li>課題プリント、発表、行動の観察、定期考査</li> </ul>	○	○	—	◎
2 学期 末	/		/	/	/	/
3 学期	/		/	/	/	/
	/		/	/	/	/

- (備考) 1 1, 2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	10
② 思考・判断・表現	発表、定期考査、パフォーマンステスト	30
③ 観察・実験の技能	観察・実験の観察、実験レポート	20
④ 知識・理解	実験レポート、課題プリント、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	理科	科目	物理	学年 学科 類型	2年 普通科 II型
単位数	2	教科書	改訂版 物理 (数研出版)		
副教材等	物理基礎・物理実験ノート (愛媛県高等学校教育研究会理科部会物理部門編) ・セミナー物理基礎+物理 (第一学習社)				

学習の目標	1 物理的な事物・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高めます。 2 目的意識をもって観察、実験を行い、物理学的に探究する能力と態度を養います。 3 物理学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め、科学的な自然観を育成します
学習の方法	・身近な物理現象を話題に取り上げたり、観察、実験などの体験的な活動を行ったりしながら、物理学における基本的な概念や原理・法則が、実感を伴って理解できるように授業を進めます。 ・知的好奇心と、知識・理解を活用しながら探究する姿勢を維持し、演習問題に取り組みましょう。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	
1 学期	中間		/	/	/	/	
			/	/	/	/	
1 学期	末		/	/	/	/	
			/	/	/	/	
2 学期	中間		/	/	/	/	
			/	/	/	/	
2 学期	末	第1編 力と運動 第1章 平面内の運動 第2章 剛体	・ベクトルに関する知識・理解を活用して、平面内を運動する物体の運動、特に、水平投射や斜方投射について学習します。 ・身近な生活における大きさのある物体について、力のつり合いと力のモーメントのつりあいについて学習します。 ・課題プリント、発表、行動の観察、定期考査	○	○	-	◎
		第3章 運動量の保存 第4章 円運動と万有引力	・運動量と力積の関係、衝突や分裂における運動量の保存、衝突におけるはね返りについて、実験を通して学習します。 ・円運動や単振動について学習します。惑星の運動に関する法則や万有引力の法則についても学習します。 ・課題プリント、発表、行動の観察、実験ノート、パフォーマンステスト、定期考査	○	○	○	◎
3 学期	末	第2編 熱と気体 第1章 気体のエネルギーと状態変化	・気体分子の運動論に基づき、理想気体の状態方程式、気体の内部エネルギー、熱力学の第一法則などを学習します。 ・課題プリント、発表、行動の観察、定期考査	○	○	-	◎
		第3編 波 第1章 波の伝わり方 第2章 音の伝わり方	・波の伝わり方とその表し方についての理解を基にして、波の干渉と回折について学習します。 ・作図やシミュレーションを用いて、音の干渉と回折、音のドップラー効果について学習します。 ・課題プリント、発表、行動の観察、観察・実験の観察、実験ノート、パフォーマンステスト、定期考査	○	◎	○	○
		第3章 光	・光の伝わり方や、光の回折と干渉による様々な現象について、その原理を学習します。 ・課題プリント、発表、行動の観察、観察・実験の観察、実験ノート、パフォーマンステスト、定期考査	○	○	○	◎

(備考) 2学期の定期考査は、期末考査のみとする。3学期は、学年末考査のみとする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	10
② 思考・判断・表現	発表、定期考査、パフォーマンステスト	30
③ 観察・実験の技能	観察・実験の観察、実験ノート	20
④ 知識・理解	実験ノート、課題プリント、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	理科	科目	化学	学年 学科 類型	2年 普通科 II型
単位数	3	教科書	化学 新訂版 (実教出版)		
副教材等	化学基礎・化学実験ノート (高教研理科部会化学部門)、サイエンスビュー化学総合資料四訂版 (実教出版)				

学習の目標	自然の事物・現象に関することを題材にして、基本的な概念、原理、法則の習得を目指します。また、実験や観察を通して、科学的な自然観を身に付け、現代社会をより広い視野でとらえることが目標です。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学基礎で学習した内容を発展させるため、物質量の計算などについてよく復習してください。</li> <li>・原子の構造や化学結合など目で見えない領域も取り扱うので、イメージ力を大切にしてください。</li> <li>・無機物質や有機化合物については、特徴と実験をよく関連付けて整理してください。</li> </ul>

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第2編 物質の変化 第2章 電池と電気分解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電池の化学反応を復習し、続いて電気分解のしくみを実験によって理解します。また、量的関係、工業的な利用法を学習します。</li> <li>・課題プリント、発表、行動の観察、実験ノート、観察・実験の観察、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
	第1編 物質の状態 第1章 粒子の結合と結晶の構造 第2章 物質の三態と状態変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質が連続性を持たない小さな粒子からなること、個々の粒子がどのようなしくみで結合しているかを学習します。</li> <li>・物質の状態変化には熱の出入りによる粒子の熱運動がもたれていることを学習します。</li> <li>・課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	-	○
1 学期 末	第3章 気体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気体の体積は、圧力や温度によって大きく変化することを学習します。また、気体の性質を利用して分子量を求める実験とともにその関係を理解し、計算方法を体得します。</li> <li>・実験ノート、観察・実験の観察、課題プリント、小テスト</li> </ul>	○	○	◎	○
2 学期 中間	第2編 物質の変化 第1章 化学反応とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学変化や状態変化による熱の出入りが意味することをエネルギーの観点から考え、また、未知の熱量を計算によって求める方法を実験により学習します。</li> </ul>	○	○	◎	○
	第3編 無機物質 第1章 非金属元素	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金属元素は非金属元素とは大きく性質が異なる点に着目して学習し、実験で確認します。</li> <li>・実験ノート、観察・実験の観察、課題プリント、小テスト</li> </ul>	○	○	◎	○
2 学期 末	第2章 金属元素(I) 第3章 金属元素(II)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金属元素は非金属元素とは大きく性質が異なる点に着目して学習し、実験で確認します。</li> <li>・遷移元素は、たがいに性質がある程度似通っているため、族の分類と関係なく学ぶほうが現実的です。身近な元素を中心に、単体や化合物、イオンなど特徴的な性質を学習します。</li> <li>・実験ノート、観察・実験の観察、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	-	○	◎
	第4編 有機化合物 第1章 有機化合物の分類と分析 第2章 脂肪族炭化水素	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機化合物の特徴を理解し、官能基の種類を学びます。また、定量的な元素分析について演習を通して理解します。</li> <li>・命名法や個々の物質の性質はもとより、分子の構造に基づく有機化合物の考え方を把握します。</li> <li>・実験ノート、観察・実験の観察、定期考査、小テスト</li> </ul>	○	○	○	◎
3 学期	第3章 アルコールと関連化合物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸素を含む有機化合物の代表として、アルコール、エーテル、カルボン酸、エステルなどの特徴的な性質を学びます。</li> <li>・実験ノート、観察・実験の観察、定期考査、小テスト、課題プリント</li> </ul>	○	○	○	◎
	第4章 芳香族化合物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芳香族炭化水素の種類と命名法、立体構造や性質を理解します。また、薬の成分などを化学を通して学びます。</li> <li>・実験ノート、観察・実験の観察、定期考査、小テスト</li> </ul>	○	○	○	◎

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	20
② 思考・判断・表現	発表、定期考査	20
③ 観察・実験の技能	観察・実験の観察、実験ノート	20
④ 知識・理解	実験ノート、課題プリント、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。



## 令和4年度 シラバス

教科	理科	科目	生物	学年 学科 類型	2年 普通科 II型
単位数	2	教科書	改訂版 生物 (数研出版)		
副教材等	生物実験ノート・問題集 (愛媛県高等学校教育研究会理科部門会編) ・スクエア最新図説生物neo (第一学習社) ・三訂版リードLightノート生物 (数研出版)				

学習の目標	1 実験・観察を通して、生物における様々な生命現象の共通性と多様性について深く学びます。 2 実験・観察を通して実験方法や観察方法、考察の仕方などの技術を習得し、自らが探究していく能力を高めていきます。
学習の方法	・「生物」の教科書や資料集等を用いて、生命現象のしくみを理解することが大切です。また、問題集を繰り返し解くことで、知識を定着させることも大切です。 ・実験・観察では、結果に対しなぜそうなるのかを深く思考し、考察することを心掛けてください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
2 学期末	第1章 細胞と分子	・細部を構成するタンパク質や酵素の立体構造について学習し、生命活動との関連について理解します。また、生体膜や細胞骨格について、構造や機能を学習します。 【実験】ルシフェラーゼの発光 ・実験ノート、授業ノート (ポートフォリオ評価)、課題プリント (パフォーマンス評価)、定期考査	○	—	○	◎
	第2章 代謝	・呼吸ではATPが合成される過程、光合成では光エネルギーが化学エネルギーに変換される過程を学びます。また、窒素同化の概要についても学びます。 【実験】脱水素酵素による酸化還元、アルコール発酵、光合成色素の分離 ・実験ノート、授業ノート、課題プリント (パフォーマンス評価)、定期考査	○	○	◎	○
	第3章 遺伝情報の発現	・DNAの構造、複製、タンパク質合成について復習し、遺伝子の発現調節の概要を、転写レベル調節の面から詳しく学びます。 ・授業ノート (ポートフォリオ評価)、課題プリント (パフォーマンス評価)、定期考査	○	○	—	◎
3 学期	第3章 遺伝情報の発現	・バイオテクノロジーについての原理を学習します。また、近年急速に発展してきている遺伝子を扱った技術について、具体例をあげながら学習していきます。 ・授業ノート、課題プリント、定期考査	○	○	—	◎
	第4章 生殖と発生	・染色体に遺伝子が存在することを学習し、有性生殖では、減数分裂と受精によって多様な遺伝子の組み合わせが生じることを理解します。 【実験】ネギ坊主の減数分裂 ・動物の配偶子形成・受精、ウニとカエルの器官形成について、詳細に学習します。 【実験】ウニの人工授精 ・実験ノート、授業ノート (ポートフォリオ評価)、課題プリント (パフォーマンス評価)、定期考査	○	—	◎	○

(備考) 2学期の定期考査は、期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合 (%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント、授業ノート (ポートフォリオ評価)	10
② 思考・判断・表現	発表 (パフォーマンス評価)、定期考査	30
③ 観察・実験の技能	観察・実験の観察、実験ノート	20
④ 知識・理解	課題プリント、実験ノート、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	学年 学科 類型	2年 普通科 II型
単位数	2	教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)		
副教材等					

学習の目標	1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。 2 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、健康・安全・運動についての課題を主体的に解決する意欲や能力を育てます。
学習の方法	・体づくり運動、球技・武道(選択)、陸上競技を通して、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てます。 ・体育理論では、運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	
1 学期	体づくり運動	・体ほぐし運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することに学びます。 ・行動の観察	○	○	◎	
	選択1(球技【ソフトボール・バレーボール・テニス】・武道)	・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンステスト、実技	◎	○	○	
2 学期	体づくり運動	・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。 ・行動の観察	○	○	◎	
	選択2(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンステスト、実技	◎	○	○	
	体育理論	・運動やスポーツを行うことで、大きな達成感や喜びを味わい、心や体を健康にすることを学びます。 ・小テスト、行動の観察	◎	○	○	
3 学期	陸上競技(長距離走)	・長距離を走るにより自分と向き合い努力すること、粘り強く相手と競り合う強い心を養うことを目標にします。また、ペースの配分をしたり、ペースの変化に対応したりするなど主体的に取り組むことができるようにします。 ・記録計測	◎	○	○	
	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンステスト、実技	◎	○	○	
	体育理論	・運動の合理的な動きを理解し、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学びます。 ・小テスト、行動の観察	◎	○	○	

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 知識及び技能	行動の観察、パフォーマンステスト、実技、記録計測	40
② 思考力、判断力、表現力等	行動の観察、各先生の評価プリント、発表、小テスト	30
③ 学びに向かう力、人間性等	行動の観察、各先生の評価プリント	30

## 令和4年度 シラバス

教科	保健体育	科目	保健	学年 学科 類型	2年 普通科 II型
単位数	1	教科書	現代高等保健体育 (大修館)		
副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)				

学習の目標	1 個人および社会生活における健康・安全について理解を深めます。 2 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身に付けます。
学習の方法	現代社会は、生活習慣病や薬物、心の問題など健康にかかわる問題が少なくありません。また、健康のとらえ方や健康のために望まれることも変化してきました。そこで現代の健康問題や新しい健康のあり方について、課題学習などを取り入れながら主体的に学習します。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	
1 学期	1 思春期と健康	・思春期の特徴を体と心の面から学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンステスト、発表、行動の観察 (以下同様)				
	2 性意識と性行動の選択	・性意識に関する男女の特徴をふまえて異性を尊重する態度が必要であることを学習します。				
	3 結婚生活と健康	・健康な結婚生活を送るためには、心身の発達や本人・家族の健康が大きく影響することを学習します。	◎	○	○	
	4 妊娠出産と結婚	・受精・妊娠・出産の一連の過程を理解し、胎児や母親の心身の健康問題、予防や健康のための支援について学習します。	◎	○	○	
	5 家族計画と人工妊娠中絶	・家族計画の意義や方法について理解し、お互いのコミュニケーションの意義やそれにもとづく妊娠、出産、人工妊娠中絶の意思決定ができるよう学習します。	○	◎	○	
	6 加齢と健康	・加齢にともなう心身の変化を形態面と機能面から学習します。	○	○	◎	
	7 高齢者のための取り組み	・高齢者の心身の健康を支援するための社会的対策が種々に行われていることを学習します。	◎	○	○	
	8 保険制度その活用	・保険制度を自分にかかわるものとして理解し、自分や家族のライフステージでどのように生かすかを学習します。	○	◎	○	
2 学期	9 医療制度とその活用	・様々な医療機関の活動内容を理解し、その利用にあたり医療費が支払われる仕組みを学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンステスト、発表、行動の観察 (以下同様)	○	◎	○	
	10 医薬品と健康	・医薬品の正しい使い方を理解し、医薬品の有効性や安全性がどのように認められているかといった、医薬品にかかわる社会的な側面を総合的に知ることができるよう学習します。	○	○	◎	
	11 さまざまな保健活動と対策	・日本や世界においてどのような保健活動や対策が行われているかを学習します。	◎	○	○	
	Ⅲ 社会生活と健康 1 大気汚染と健康	・大気汚染や汚染源と汚染物質、それによる健康被害について学習します。	◎	○	○	
	2 水質汚染と健康	・かつて甚大な被害をもたらした産業排水による水質汚濁の実態とその対策及び、こんにちの生活排水による水質汚濁の実態を学習します。	○	◎	○	
	3 健康被害防止と環境対策	・環境汚染を防ぐためにさまざまな社会政策や個人でできることを幅広く調べ、総合的な対策を考えようとする態度を身に付けます。	○	○	◎	
4 環境衛生活動のしくみと働き	・ごみ処理と上下水道の整備の現状の仕組みを理解した上でそれらの問題点や対策を学びます。	◎	○	○		
3 学期	5 食品衛生活動のしくみと働き	・生産や製造・加工の現場から保存・流通、販売における基準などの遵守、遵守状況における行政の監視を学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンステスト、発表、行動の観察 (以下同様)	◎	○	○	
	6 食品と環境の保健と私たち	・私たち消費者が、安全な食品を確保し、環境を汚染しないために取り組むべき対策について学習します。	○	◎	○	
	7 働くことと健康	・働くことは人生において大変重要な意味を持つ一方で、働くことが原因で健康を損なうことがあることを学習します。	○	○	◎	
	8 労働災害と健康	・労働災害・職業病とは何か、ということについて理解した上で、労働中の事故とその対策、職業病の原因とその対策について具体的に学びます。	◎	○	○	
	9 健康的な職業生活	・職場における健康増進活動として、様々な専門家によって健康づくり支援が行われるようになってきたことを学習します。	○	◎	○	

(備考) 定期考査は、学期末に行う。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 知識	定期考査、ノート、課題プリント、パフォーマンステスト	40
② 思考力、判断力、表現力等	行動の観察、発表、定期考査、パフォーマンステスト	30
③ 学びに向かう力、人間性等	行動の観察、課題プリント	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	学年 学科 類型	2年 普通科 II型
単位数	4	教科書	Revised ELEMENT English Communication II (啓林館)		
副教材等	Vision Quest 総合英語 Ultimate (啓林館)、ターゲット1900 (旺文社)				

学習の目標	1 英語を理解し英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 教科書等の英語を読んだり聞いたりしたことに対する自分の感想や意見を、英語で話し合える理解と表現力を習得します。 3 より高度な構文や文法を習得し、語彙を増やします。GTEC Advanced 700点以上を目標とします。
学習の方法	・授業は、教科書の文章を読んでおくことが前提になります。授業中の言語活動に参加できるよう、音読と大まかな内容把握をした上で授業に臨みましょう。自分の力で取り組む習慣を継続しましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや英語で自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や文法書を利用して、自分で調べるようにしましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Lesson 1 Beyond Words	・非音声的言語とは何かや非音声的言語の種類、非音声的言語が文化によって異なることについて学びます。 ・助動詞+完了形、受動態の動名詞、付帯状況を表す with A B ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	○	◎	○
	Lesson 2 Stay Hungry, Stay Foolish	・スティーブ・ジョブズが半生で得た教訓について学びます。 ・複合関係詞、S + V (be動詞) + C (that節)、be動詞+to不定詞 ・言語活動への参加状況、発表、定期考査、パフォーマンステスト	○	◎	○	○
1 学期 末	Lesson 3 A Teenager To Change the World	・ジャック・アンドレイカの研究や成功の理由について学びます。 ・動名詞の意味上の主語、疑問詞+do you think+ (S') + V'?, 未来進行形 ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	◎	○	○
	Lesson 4 Life in a Jar	・イレーナ・センドラーがユダヤ人のために行ったことについて学びます。 ・完了形の受動態、さまざまな分詞構文 ・言語活動への参加状況、発表、定期考査、パフォーマンステスト	○	○	◎	○
2 学期 中間	Lesson 5 Space Debris	・宇宙ごみが引き起こす問題や、その解決のために行われている取組について学びます。 ・接続詞+分詞、二重否定、部分否定 ・言語活動への参加状況、発表、定期考査、パフォーマンステスト	○	○	◎	○
	Lesson 6 Caddy for Life	・ブルース・エドワーズとトム・ワトソンの関係や、ブルースの病気に対する立ち向かい方について学びます。 ・独立分詞構文、関係副詞の非限定用法 ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	◎	○	○
2 学期 末	Lesson 7 iPS Cells	・山中博士によるiPS細胞の研究について、また激化する再生医療分野での競争について学びます。 ・不定詞の意味上の主語、ifを省略した仮定法、同格のthat ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	○	◎	○
	Lesson 8 Selective Breeding	・犬と人間とのかかわりと、人間による犬の品種改良がもたらした結果について学びます。 ・仮定法の慣用表現、完了形の動名詞、強調構文 ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	◎	○	○
3 学期	Lesson 9 The Vancouver Asahi	・1800年代後半から太平洋戦争時のカナダにおける日系人の状況と、日系人野球チーム朝日の活躍について学びます。 ・whatを用いた強調、無生物主語、倒置 ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	◎	○	○
	Lesson 10 Euglena	・ミドリムシとはどのような生物か、またその研究に情熱を注いだ出雲さんと、ミドリムシ活用の可能性について学びます。 ・複合関係詞however、if節に相当する表現、未来完了形 ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	○	◎	○
	Further Reading 2 Momo	・名作ファンタジーを読みましょう。 ・モモと街の住民たちと灰色の男たちの攻防について読み取ります。	○	○	◎	○

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	言語活動への参加状況、パフォーマンステスト	20
② 外国語表現の能力	発表、パフォーマンステスト、定期考査	30
③ 外国語理解の能力	発表、パフォーマンステスト、定期考査、小テスト	30
④ 言語や文化についての知識・理解	発表、定期考査、小テスト	20

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語表現Ⅱ	学年 学科 類型	2年 普通科 Ⅱ型
単位数	2	教科書	Revised Vision Quest English ExpressionⅡ Ace (啓林館)		
副教材等	Vision Quest 総合英語 Ultimate (啓林館)				

学習の目標	1 英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 より高度な表現や構文・文法を習得し、英文の内容や相手の意図を正しく理解し、自分の考えを効果的に表現できる英語力を身に付けます。 3 GTEC Advanced 700点以上を目標とします。
学習の方法	・授業は、教科書の練習問題などを解答しておくことが前提になります。授業中の言語活動に参加できるように、自分の力で解答する習慣を継続しましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や文法書を利用して、自分で調べてみるようにしましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	【Part 1】 Lesson 1 お花見 Lesson 2 漫画の楽しみ	・主語について学習します。 ・主語の決定/主語の決定/見えない主語の発見/主語のit/主語になる名詞句/形式主語/無生物主語 ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト	○	◎	-	○
	Lesson 3 京都へ観光に Lesson 4 私の家族です	・動詞や文型について学習します。 ・自動詞と他動詞/間違えやすい自動詞と他動詞/群動詞/SVO/SVOC ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト、パフォーマンステスト	○	◎	-	○
1 学期 末	Lesson 5 保育園での授業体験 Lesson 6 サプライズパーティー	・動詞と文型について学習します。 ・SVC/SVOC/使役動詞/知覚動詞 ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト	○	◎	-	○
	Lesson 7 映画のお誘い Lesson 8 航空管制官になる	・動詞の語法や話法について学習します。 ・直接話法と間接話法/間接話法で伝達/「～する」/「～している」 ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト、パフォーマンステスト	○	◎	-	○
2 学期 中間	Lesson 9 趣味はピアノ Lesson 10 『タイタニック』を見て	・動詞の語法や態について学習します。 ・「～した」/「～していた」/能動態と受動態/日本語との違い ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト	○	◎	-	○
	Lesson 11 世界遺産の魅力 Lesson 12 ボランティア活動	・法や助動詞について学習します。 ・「もし(今)～ならば」/「もし(あの時)～だったなら」/義務・必要を表す助動詞/推量を表す助動詞 ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト、パフォーマンステスト	○	◎	-	○
2 学期 末	Lesson 13 制服に賛成? 反対? Lesson 14 ローマの魅力	・修飾語(句)について学習します。 ・数量を表す語句/名詞を前から修飾する語句/名詞を後ろから修飾する①・② ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト	○	◎	-	○
	Lesson 15 思い出の写真 Lesson 16 科学技術の利用	・関係詞や副詞(副詞句)について学習します。 ・関係代名詞/関係副詞/副詞・副詞句/不定詞や分詞を使った副詞句 ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト、パフォーマンステスト	○	◎	-	○
3 学期	Lesson 17 携帯電話は便利だけど… Lesson 18 犬派? 猫派?	・副詞(副詞節)や比較について学習します。 ・副詞節①・②/原級/比較級 ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト	○	◎	-	○
	Lesson 19 思い出深いプレゼント Lesson 20 インターネットの問題点	・比較や否定について学習します。 ・最上級/最上級を意味する表現/no+名詞, no-で始まる代名詞/部分否定/準否定 ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト、パフォーマンステスト	○	◎	-	○

(備考) 1 1, 2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	言語活動への参加状況、パフォーマンステスト	20
② 外国語表現の能力	定期考査、パフォーマンステスト	50
③ 外国語理解の能力		30
④ 言語や文化についての知識・理解	言語活動への参加状況、定期考査、小テスト	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

# 令和4年度 シラバス

教科	SS	科目	RSⅡ	学年 学科 類型	2年 普通科 Ⅱ型
単位数	2	教科書			
副教材等	理科課題研究ガイドブック～どうやって進めるか、どうやってまとめるか～（千葉大学先進科学センター）				

学習の目標	<p>1 地域の自然環境や文化・歴史、産業や医療・福祉などを主題とした課題研究に取り組み、資料の収集、現地実習、実験・観察などの体験的な活動を通して得られた情報を分析・考察しながら、科学的に探究する能力や態度を身に付けます。</p> <p>2 課題研究の成果を、論文やスライド、ポスターにまとめ、プレゼンテーションを行う経験を通して、情報を発信するための技能を高め、豊かな表現力を醸成します。</p>
学習の方法	<p>・地域や身近にある素材を主題にして課題研究を進めます。担当教員からの助言やインターネット等から得た情報を参考にしながら、主題の決定から調査方法、成果報告まで、生徒が主体となって探究活動を展開します。</p> <p>・地域や身近にある素材を課題研究の対象として捉え、知的好奇心を持って探究できるよう、また、情報をうまく伝えるためのスキルを身に付けることができるよう、出張講義や発表会の機会が多く設定されています。</p>

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	SSHオリエンテーション 昨年度の課題研究の紹介  講座分け説明会 講座希望調査 研究班編成 研究テーマの設定 文献検索・先行研究の調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>「理科課題研究ガイドブック」を用いて課題研究の取り組み方について説明を受けたり、通年度の課題研究のうち優秀な作品を紹介されたりするなど、課題研究を進めていくために必要となる具体的なイメージを持てるようにします。</li> <li>基礎理工講座、生命環境講座、総合科学講座に分かれ、各講座において具体的な研究テーマを例示しながら、研究班の編成を行います。</li> <li>研究テーマを設定するにあたり、地域や身近にある素材を課題研究の主題として取り上げることや、課題研究の質を高めることを期待して継続研究を奨励することを伝え、文献検索・先行研究の調査を十分に行ったうえで、研究テーマを設定します。</li> <li>ポートフォリオ評価、発表、行動の観察</li> </ul>	◎	○	-	○
	出張講義「科学実験入門」 物理系「放射性崩壊に伴う統計誤差の取扱いについて」／生物系「生物学的領域の研究における統計処理の基本」	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題研究の質を高める方策として、フィールドワークや観察・実験を通して得られるデータの処理において、統計処理を施すことが求められ、そのスキルを学びます。</li> <li>レポート、ポートフォリオ評価、発表、行動の観察</li> </ul>	○	◎	○	○
	研究計画 課題研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>各班が設定した研究テーマについて、研究計画に従って、フィールドワークや観察・実験等によるデータの収集とその分析・考察、研究のまとめを行っていきます。</li> <li>ポートフォリオ評価、行動の観察</li> </ul>	○	○	◎	○
2 学期	課題研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>各班が設定した研究テーマについて、研究計画に従って、フィールドワークや観察・実験等によるデータの収集とその分析・考察、研究のまとめを行っていきます。</li> <li>ポートフォリオ評価、行動の観察</li> </ul>	○	○	◎	○
	課題研究中間発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月中旬までの課題研究の成果をポスターにまとめて発表します。その発表内容に対して校外の専門家から指導助言を受け、今後の研究の方針等に改善を加えていきます。</li> <li>ポートフォリオ評価、ルーブリック評価、発表、行動の観察</li> </ul>	○	◎	○	○
	SSH講演会	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演内容を踏まえてレポートを作成します。研究者・技術者に求められる心構えを理解したり、最先端研究に関する知見を広げたりするなど、自らの進路実現・自己実現について考えを深めるとともに、課題研究に取り組む意義について考えます。</li> <li>レポート</li> </ul>	○	◎	-	○
3 学期	論文作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題研究の成果を論文にまとめます。</li> <li>ポートフォリオ評価、行動の観察、論文</li> </ul>	○	○	○	◎
	論文作成 プレゼンテーションの準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題研究の成果を論文とプレゼンテーションに用いるスライドにまとめます。規定の時間内でプレゼンテーションできるように口頭発表の準備も行います。</li> <li>ポートフォリオ評価、行動の観察、論文やプレゼンテーションに用いるスライド</li> </ul>	○	○	○	◎
	課題研究講座内発表会 SSH研究成果報告会	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座内発表会において口頭発表を行います。さらに、SSH研究成果報告会においてステージ発表またはポスター発表を行います。</li> <li>ポートフォリオ評価、ルーブリック評価、発表、行動の観察、論文やプレゼンテーションに用いるスライド</li> </ul>	○	◎	○	○
	まとめ、自己評価 今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題研究の取り組みや成果について、自己評価を行い、今後の課題について話し合います。</li> <li>ポートフォリオ評価、レポート</li> </ul>	◎	○	-	○

(備考) 定期考査は実施しない。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	ポートフォリオ評価、ルーブリック評価、レポート、発表、行動の観察、論文やプレゼンテーションに用いるスライド	30
② 思考・判断・表現	ポートフォリオ評価、ルーブリック評価、レポート、発表、行動の観察、論文やプレゼンテーションに用いるスライド	35
③ 技能	ポートフォリオ評価、ルーブリック評価、レポート、発表、行動の観察、論文やプレゼンテーションに用いるスライド	15
④ 知識・理解	ポートフォリオ評価、ルーブリック評価、レポート、発表、行動の観察、論文やプレゼンテーションに用いるスライド	20